

2017 November

Vol.58

# 広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <http://www.hiro-nishi-nh.jp/>



## CONTENTS

■ 新任医師紹介…………… 2	■ 研修企画隊による「KYT」研修……………11
■ 平成29年度神経・筋疾患研修会を開催しました…2	■ 大竹ふれあい健康・福祉まつりに参加しました…12
■ 平成29年度国立病院機構QC活動奨励表彰式に参加して…4	■ 還暦を祝う会……………13
■ 広島西医療センター「PDCAサイクルに基づく医療の改善」実習を開催して…4	■ 患者図書室から……………14
■ 第10回広島西医療センター祭り……………6	■ 栄養士のつばやき㊸……………15
■ 地域のリーダー・アラカルト…………… 8	■ 地域医療連携室実績報告……………15
■ 第13回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加して…9	■ 編集後記……………15
■ 第12回広島西医療センター・岩国医療センター合同初期臨床研修会議…10	■ 外来診療担当医表……………16

## 病院理念「患者さんと共に」

### ■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

### ■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター 「にしきくん」

## 新任医師紹介

本年10月より当院に着任となった医師から、ご挨拶申し上げます。

### 皮膚科 稲束 有希子

■専門医等の資格：

日本皮膚科学会 専門医

■出身地：広島県

■出身高校：ノートルダム清心高校

■出身大学：山口大学

■趣味：旅行

■自己PR：

10月から赴任しました稲束 有希子と申します。  
2年間山口で研修し、3年目、広島大学皮膚科へ入局し、県立広島病院、中国労災病院、庄原日赤病院、呉医療センターを経て、当院へ異動となりました。  
地域の皮膚科医療および長期療養中の患者さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。



### 神経内科 村尾 智美

■専門医等の資格：

日本内科学会 認定内科医

■出身地：広島県

■出身高校：呉三津田高校

■出身大学：愛媛大学

■趣味：ドライブ

■自己PR：

10月から赴任しました神経内科医の村尾 智美と申します。これまで同じ国立病院機構の呉医療センター、柳井医療センターで勤務して参りました。  
急性期疾患から神経難病まで、広い分野で地域の皆さまのお力になれるよう努めて参ります。  
よろしくお願い致します。



## 平成29年度神経・筋疾患研修会を開催しました

秋も深まる10月中旬といえば、安芸は宮島・厳島観月能にバッティングさせたかのような（決してそんなことはありません）日程ではありましたが、10月18日（水）から10月20日（金）の3日間、当院において平成29年度神経・筋疾患研修会を開催しました。

この研修会は、国立病院機構中国四国グループ内における神経・筋疾患に携わる各病院が、毎年持ち回りで開催しており、当院では平成24年度以来5年ぶりの開催となります。

昨年11月、渡邊神経内科部長より「来年、うちですることになりました」という一言が発せられ、「本当か



グループワーク「転倒転落対策」

なあ」と半信半疑の面持ちで、開催に向けて動き始めました。

研修の日程調整から、講師の先生方への案内に加え、院内での打ち合わせ（作戦）会議を重ね、研修会場のレイアウトや資料の配置、弁当の注文まで、普段気にかけることがないようなことを、ひとつひとつ拾い上げながら、研修計画を作っていました。NHO病院や広島、山口両県のクリニック、訪問看護ステーション等を中心に受講生を募ったところ、スポットでの聴講希望も含めて計103名の方から申込をいただき、「これはすごい規模の研修になるな」と身が引きしめる思い



開講式

がしました。

ときどきしながら迎えた研修当日は、研修参加者が泊まるホテルへ直行する者、会場で最後の打ち合わせをする者、三者三様の当院職員が待ち構える中、研修参加者が次々と到着しました。最初の受付こそ大行列になってしまいましたが、講義が始まれば真剣な表情で聞き入り、グループワークでは活発な議論が展開され、大きな滞りが生じることもなく、無事3日間の日程を終えることができました。

今は研修を終えた達成感を全身で感じているところではありますが、参加者からのアンケートを集計する



医師、患者、家族役に分かれてのシミュレーション

中で、もっとこうすればよかった、こんな運営方法もあったんじゃないか、と振り返っています。中には手厳しい意見もございましたが、我々への温かいエールと思って受け止め、次回開催に向けた教訓として申し送りたいと考えています。

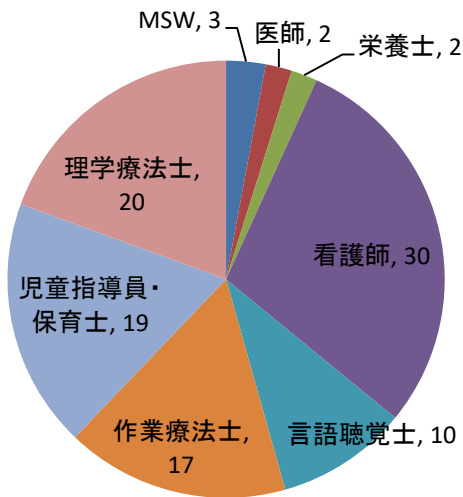
最後になりますが、本研修会の開催にあたりご尽力いただいた関係者及び講師の先生方、そして遠路はるばる（中には宮崎県から！）お越しいただき、かつ研修の運営にも協力してくださいました参加者の皆様に、心より感謝申し上げます。



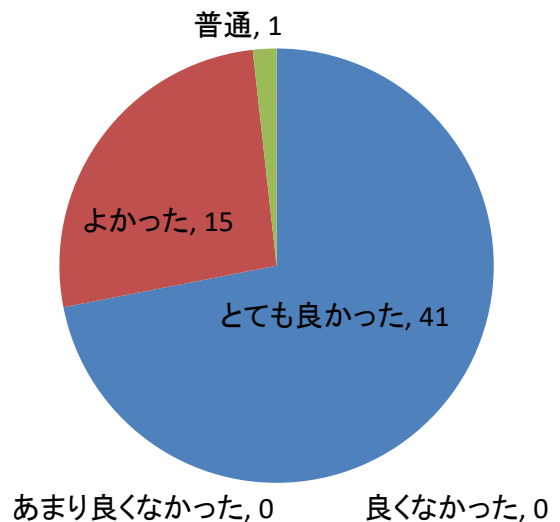
リハビリの見学実習

### 研修会参加者からの声

参加者職種別内訳 (単位:人)



研修会に参加してよかったと思うか (回答:57名)



☆臨床に戻っていかせることがたくさんある研修会でした！病院に戻ったら後輩などの指導にもいかしていきたいと思えます。ALSの患者さんとのかわり度で悩むことが多くありますが、今回学んだことでその悩みが少し軽減できそうな気がします。試行錯誤しながらその人らしく過ごせるように看護をしていきたいと思えます。(看護師)

☆まだまだできることがあると励みになりました。(作業療法士)

☆なかなか神経・筋疾患の勉強会自体が少なく加えて他職種の講義をきく機会がないので、考え方の幅が広がりました。

(理学療法士)

☆今回の研修で得た知識、情報を今後の実際の現場で活かして行きたいと思えます。今後も勉強することで視野を少しでも広くし、患者様ひとりひとりにより効果的なりハビリを提供して行きたいです。(言語聴覚士)

☆神経・筋疾患難病看護に関わっていることに誇りをもって明日からも頑張ります。(その他)

## 平成29年度国立病院機構QC活動奨励表彰式に参加して

副看護師長連絡会 業務改善グループ

昨年度、副看護師長連絡会業務改善グループの活動として、超過勤務縮減のため、「Time is Money～看護業務量調査から超勤縮減、経費削減へ～」に取り組み、平成29年度国立病院機構QC活動奨励表彰におきまして優秀賞を頂き、国立病院機構本部での表彰式に参加して参りました。

広島西医療センターでは、数年前から院長の「毎日がPDCAサイクルじゃけ～」というかけ声のもと、各部署が日々行っている業務の改善のため、PDCAサイクルを応用してきました。このような活動の中で業務改善グループとして、看護師を対象に業務量調査を実施しました。業務量調査は2回行い、結果を分析し課題から対策を立て看護師1



国立病院機構本部にて



懇談会にて

人ひとりが時間の使い方を振り返り、自分自身の時間管理を意識して働くことで時間外勤務の縮減につながる取り組みを行いました。

今回表彰をいただけたのは、業務量調査にご協力いただいた全病棟のスタッフの皆さんをはじめとして、忙しい中取り組みを行ってくださ

った各病棟の副看護師長方の多大な協力、ご指導くださった看護部の皆様のお力添えがあってのことであり深く感謝しています。

今後もこの結果に慢心することなく、スタッフの疲弊防止、ワークライフバランスの充実、働きやすい職場風土の醸成を目指し引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



表彰状を頂きました

## 広島西医療センター「PDCAサイクルに基づく医療の改善」実習を開催して

臨床研究部長 高 蓋 寿 朗



当院では数年前から、院内での日常業務の改善にもPDCAの考え方を取り入れ、2017年1月には「PDCA祭り」と称して報告会を開催するなどしております。PDCAサイクルを用いた取り組みについては、NHO本部の診療情報分析部などとも常に情報交換を行い連携しています。

このような連携の一環として、今回、8月28日に東京医科歯科大学PDCA医療クオリティーマネージャー養成プログラムの教員、学生あわせて14名の方が病院実習のため、当院を訪問されました。

当日は、まず奥谷院長による当院の病院紹介、講義につづいて、院内の見学をしていただきました。このあと、「PDCAあとの祭り」というやや不可解なタイトルの報告会を開催しました。まず、私から1月のPDCA祭りの概要を紹介させていただいた後、この祭りの際の報告のうち、その後もサイクルを積極的に回して、アウトカムが得られている3つの課題の発表をしていただき、質疑応答を行いました。

### ①「放射線診療従事者頭頸部被ばく線量低減への取り組み」放射線科

TV室放射線検査における医療従事者の被ばく線量を具体的に評価して、防護具の使用を促進する取り組みです。継続的に医療従事者に啓蒙することで防護具の着用率が向上しているというアウトカムを示していただきました。

## ②「調理師考案お魚新メニューで満足度アップ」栄養管理室

長期入院患者さんが多い慢性期病棟において、お魚料理の改善に取り組み、新メニューを考案して患者さんの感想を集計しました。患者さんの評価が改善したばかりでなく、原材料の購入費用見直しにもつながったとの報告でした。患者さんの満足度を改善しつつ、病院経営にも小さな所から協力するという職員の姿勢が感じられる報告でした。

## ③「退院調整（支援）への取り組み」看護部、地域連携室

それぞれの入院病棟の看護師が積極的に関与することで、退院調整の件数が一気に増加し、「退院支援加算」の取得ができるようになったとの報告でした。患者さんの退院後の生活への移行を円滑にするばかりでなく、入退院数の適切な調整にもつながっているという状況を紹介させていただきました。実習に参加している学生の方からは、非DPC病院である当院のような施設で退院調整を行う意義について質問などがあり、議論が盛り上がりました。



報告会の様子

報告会終了後にはPDCA祭りにおいて「“にっしーくん” 知名度UP大作戦！」のタイトルで1位を獲得したゆるキャラ「にっしーくん」も今年のグランプリ総選挙での順位アップというアウトカム達成のため登場してくれました。

当日実習に参加して下さった学生の方の感想は下記のサイトにアップされております。感想を拝見すると、当院の特徴とそれを生かしたPDCAの応用の実際をしっかりと理解して下さっており、当院としても大変励みとなりました。

[http://www.tmd.ac.jp/koudoiryoudo\\_med/index.html](http://www.tmd.ac.jp/koudoiryoudo_med/index.html)（東京医科歯科大学PDCA医療クオリティマネージャー養成）

当院はこれからも「むずかしゅう考えなさんな、毎日がPDCAサイクルじゃけ〜」の院長の命のもと、あまく、ゆるく、実はまじめで、しっかりアウトカムを達成するような取り組みを続けていきたいと考えています。



にっしーくんも登場してくれました



にっしーくんと記念撮影

# 祭 第10回広島西医療センター祭り

広島西医療センター祭り実行委員会 事務局長 中谷 勇 樹



平成29年10月7日(出)『第10回広島西医療センター祭り』を開催しました!!

今年も昨年と同様、天気予報では雨の予報が出ており、開催できるかとても不安でした。前日準備も雨が降る中、可能な範囲でテントやステージの組み立てなどを行い、センター祭当日はこれから準備をするという時から雨が降り始め、一時雨が強くなることもあり、中止も考えました。しかし、気象レーダーを確認すると昼前には雨があがることがわかり、開催することを決定しました。雨があがると職員ボランティアが一致団結して急ピッチで準備を行い、定刻にスタートすることができました。

奥谷院長の開会挨拶の後、「岩国ブルスムジーク」の吹奏楽から始まり、「大竹フォークダンス連盟」、「ふたりBEATLES」、「げんきなこ」、「旭琴クラブ」、「SKY FLOW」、「ダンスサークルABEATクラブ」、「長尾ちえみさん」、「大竹一番太鼓」の合計9団体の出演によってステージがとても盛り上がりました。今年は新たに「ふたりBEATLES」の出演があり、雨が直前まで降っていたとは考えられないほど多くの方がご来場くださり、歌に合わせて手拍子や体を動かされて、皆様に楽しんで頂けたと思います。



岩国ブルスムジーク



大竹フォークダンス連盟



ふたりBEATLES



旭琴クラブ



SKY FLOW



げんきなこ

(写真にはありませんが、今年も「長尾ちえみさん」、「大竹一番太鼓」、「ダンスサークルABEATクラブ」の皆様にも出演して頂き、素敵な歌やダンス、迫力ある太鼓などを楽しませていただきました)

今年は例年出店されている「お好み焼き『藤』」の他に、新たに「桜井さんのバザー」や「White tree」も出店され、多くの方に楽しんで頂けたと思っています。また、今年も「わかば保護者会」、「おおの福祉会アダージョ」、「エルマーの会」、「ふれあいライフ原」の各団体に出店して頂きました。

今年で開催10回となる広島西医療センター祭りは、病院職員が皆様に笑顔と楽しさを提供したい気持ちでボランティアとして企画・運営しているお祭りです。当院を利用されている皆様や近隣の皆様、病院職員が楽しい時間を一緒に過ごしたいとの思いで続いています。何かと行き届かない点があったかと思いますが楽しんでいただけたでしょうか。賛同協力頂いた皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。来年もきっと広島西医療センター祭りを開催しますので、また皆様の来場をお待ちしています。



職員・看護学生ボランティアスタッフ全員集合!!

## 地域のリーダー・アラカルト (第 14 話)

## 『地域に支えられて40年目の旅行会社』

株式会社日本ツーリストプラザ

所長 坂本伸之



私が大竹の街で働き始めて23年目になります。私が勤めているのはJR大竹駅前（駅から徒歩3分）にある『近畿日本ツーリスト特約店・ツーリストプラザ』です。

お店の創業は昭和52年で今年40年目となります。当時のお店の名前は『大竹旅行センター』でした。このお店は私の母親が立ち上げたのもです。もともと母は岩国市内で大手旅行会社『日本旅行』の社員として働いていました。大竹市内の営業も担当しており多くのお客様にお世話になっていたようです。

当時は大竹市内に旅行会社はなく周囲のご協力もあり、独立してお店を開業することになりました。大竹市で初めての旅行会社です。

場所は今の場所ではなく大竹市本町で小さな事務所を使っていました。その2年後に今の場所に移転することになります。

昔は旅行業といえば事務所と電話さえあれば成り立つといわれていたそうですがその頃から日本の景気は右肩上がりといわゆるバブル時代を迎えます。国内のみならず海外旅行や団体旅行も急成長しており、そういった時代の後押しもあり、その時期に小学生から中学生になる私の目には毎日いきいきと働く母の姿は頼もしく輝いて見えました。

団体旅行の添乗員として多くのお客様を連れて国内海外を旅していました。出会った人とすぐに仲良しになり、多くの友人もいました。

一番好きな国は中国で何度も中国に訪問していました。当時現地で観光ガイドとしてお世話になっていた超（ちょう）さんのことが大好きで、『さだまさし』に似ていると自慢しながら私を誘い、私が大学生の時に一度だけ付いていったこともありました。そんな母の姿を見ながら自然と私も旅の仕事を目指すようになっていました。学生時代に旅行業の資格をとり、自分でも旅の経験を重ね勉強してきました。

母は今から21年前に亡くなりました。私が大学生のときに病気がみつきその後仕事と治療を繰り返しながら懸命に生きようとしていました。

入院していた頃は病室のベッドの上から電話でお店の従業員に指示を出したり打ち合わせをしたり…『わたしは仕事のことになったら頭がシャキッ!とするの。』と誇らしげに話していたことがとても記憶に残ってい

ます。

私は関西の大学を卒業した後、本部の近畿日本ツーリストの支店で約5年間営業の仕事で経験を積み母の病状に合わせて地元に戻ってきました。私が戻ってきた頃には母の病状はよくなり、ほとんど引き継ぎもままならないうちに母は他界しました。私は結婚して長男が誕生した8日後のことでした。不安と動揺と家族が増えた喜びと。私にとっては忘れられない時期です。会社の商号を『ツーリストプラザ』と改めたのもこの時期です。旅好きな人が集まる場所という思いで付けた名前です。

母から受け継いだお店。気がつけばもう母よりも私のほうが長くやっていることになります。不安だらけでスタートしてパブルがはじけて以降、不景気やデフレといった困難を乗り越え、なんとか続けることができました。この間、母のやり方をたどるのではなく、自分で切り開いていくことを心掛けてきたつもりです。

時々母のことを思い浮かべながら『もうここまでやれば許してもらえるかな』と思うことがある反面、もっともっと旅行の仕事を通じて人と関わり、お役に立っていきたく強く思います。インターネットが普及し、旅行会社の数も減り、旅行会社としての立ち位置も昔と変わり、今や私たち商店街の中に店舗を構えるお店のことを『リアル店舗』と呼ばれたりします。それならばその『リアルさ』を前面に出し、手で触れて、向き合い、話して、感じて喜んでいただけるお客様との関わりを大切にしたいと思います。

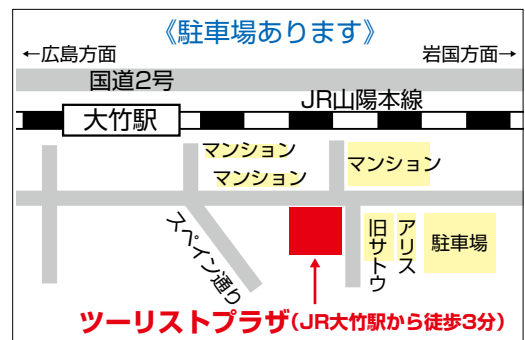
日頃は仕事だけでなく地域活動やボランティアなどにも積極的に参加しています。

最後に、これまで支えてくださった大竹市内及び周辺の皆さまへの感謝を胸に、これから先もできるだけ長く、お役に立っていけたらと思います。

大竹の街全体が活気に満ち溢れ互いが信頼しあい、その中で仕事をさせていただくことを喜びとし、歩みを止めず進んで参りたいと思います。

これからも宜しくお願ひいたします。

これからも宜しくお願ひいたします。





## 第13回 中国四国地区 国立病院機構・ 国立療養所看護研究学会に参加して

教育担当師長 高 下 尚 子



平成29年9月9日(土)松山総合コミュニティーセンターで開催された看護研究学会に当院から35名参加しました。学会テーマは、「今、看護の本質を問う～新しい時代の看護を目指して～」でした。

広島西医療センターからバスを貸切、朝6時に出発し、約3時間30分の行程で松山に到着しました。

学会では、ポスター発表2題、口演発表1題の3題の発表を行いました。H28年度の院内看護研究発表の論文をまとめなおし、多くの支援を受け、学会発表練習を行い、無事発表できました。



### 演題「認知症カンファレンスの継続が看護師に及ぼす影響」

東2病棟 濱 田 恵 子



9月9日に松山市コミュニティセンターで開催された看護研究学会に参加し、私は「認知症カンファレンスの継続が看護師に及ぼす影響」についてポスターセッションで発表させていただきました。たくさんの人に伝えることの大変さを感じ、とても緊張しましたが皆さん真剣に発表を聞いて下さり、とても良い経験となりました。他の施設で取り組まれた研究についてもポスターを見たり発表を聞いたりすることができ、興味深い内容がたくさんあり勉強になりました。今後に活かしていきたいと思います。

### 演題「認知症患者への転倒転落防止ラウンドによる看護師の行動変容」

西3病棟 松 下 彩

今回、平成29年9月9日(土)松山市で開催された第13回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加させていただき、1年間の取り組みを発表しました。『認知症患者への転倒転落防止ラウンドによる看護師の行動変容』という演題で発表しましたが、自分たちの関わりが病棟全体へ反映され、それに伴い転倒転落インシデント件数が減少したことは大変やりがいのある看護研究でした。病棟スタッフ全員に協力してもらいこのような結果になったのは大変嬉しく思います。また、チーム・病棟内での患者の状態を含め情報共有が出来るようになることが今後の課題であると再認識しました。日々の業務と並行して研究をまとめるのは大変でしたが、とても勉強になり自身の糧になりました。今後も患者中心の看護を見つめなおし、看護者に求められる役割について考えながら、今まで以上に日々邁進していきたいと思います。



### 演題「重症心身障害児(者)の便漏れを減らす取り組み－2種類のおむつ使用方法を比較して－」

東2病棟 植 木 宗 一 郎



9月9日に開催された、第13回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会で「重症心身障害児(者)の便漏れを減らす取り組み－2種類のおむつ使用方法を比較して－」の口演発表を行ないました。たくさんの方の聴講者を前にしての発表はやや緊張しましたが、無事発表を終えることが出来て良かったです。今回、看護研究という3若葉病棟での取り組みを通して、一つのテーマに焦点を当てて深く研究を行なっていくことの難しさを痛感するとともに、日頃の看護を振り返る良い機会となりました。この度の研究に御協力頂きましたスタッフや患者さんに感謝いたします。

## 第12回 広島西医療センター・岩国医療センター合同 初期臨床研修会議

統括診療部長／臨床研修管理室長 新 甲 靖



昨年もこの時期に「第11回広島西医療センター・岩国医療センター合同 初期臨床研修会議」のご報告と、初期臨床研修に関する説明を書かせて頂きましたので、ご存知の方も多少は増えたかもしれません。

「医学部を卒業後、国家試験に合格して医師免許を取得した方は『ほぼ全員』、2年間の初期臨床研修を受けて基礎的な臨床能力を習得しなければならない。各自の専門分野に進むのはそれが終了してから。」というルールが法的に定まったのが平成16年で、当院は広島県内である程度以上の規模を持つ病院の中から25病院指定された「初期臨床研修指定病院」のうちの一つです。（『ほぼ全員』→「医者になったけど一生研究だけして生きていきます。人は診ません」という人が初期臨床研修を受けなくても医師免許自体は認められます）

という訳で、現在当院には1年目・2年目合わせて8名の初期臨床研修医が在籍して、日々頑張っております。

ところで、当院は日本最大の病院チェーン店（笑）である「国立病院機構」に所属しており、同系列の岩国医療センターは県は違いますが直線距離で12kmしか離れておらず、こちらも山口県の初期臨床研修指定病院となっております。

せっかく同系列の病院が近くにあるのですから、それぞれの病院の得意分野で互いに補い合えば、さらに有効な研修になるということで、普段から両院の研修医は行ったり来たりして勉強しております。

その一環として、「年に1～2回、両院の研修医・指導医が一堂に会し、症例検討会や指導医のミニ講義を行ったり、研修の方法に関する疑問点を検討したりする」会議を両院で継続的に開催しており、今回で12回目となったこの会の正式名称が「広島西医療センター・岩国医療センター合同 初期臨床研修会議」（長いので、



以下「合同研修会」と省略します）です。

今回の参加者は両病院長を始めとして研修指導医・両院研修医全員の31名で、毎回30人から35人程度で開かれます。

また、この合同研修会は「ネタは各病院が交代で出す」というルールがあり、今回は岩国の先生が発表してくれたので、今回は広島西の番です。

当院の2年目研修医小田美紀子先生が「食欲不振を主訴として来院され血管内リンパ腫が疑われた症例」を発表してくれました。



両院の研修医から熱い質疑応答が飛び交い、「最近の研修医はよう勉強しとるのう。30年前ワシが1～2年目の時より確実にエライわ。。。と感心することしきりの新甲でした。



勉強が終了すればお待ちかね、「情報交換会々～イム!!」

普段から行ったり来たりしているので、研修医同士お互い顔

はほぼ知っているものの改めて自己紹介。

その後は飲み食いしながら「研修医同士でプライベートコソコソ話」や「病院は違えど研修で悩むことは同じ・愚痴大会」で盛り上がる中、院長はじめ年長者は退席。後はお若い方同士で（笑）。

研修医は勉強になるし、お互い刺激を受けるし、メシうまいし、楽しいし…

指導医同士もお互い顔の見える関係になって、日常診療で連携を取りやすくなるし…

ということで、この合同研修会はこれからも続けます。

# 研修企画隊による「KYT」研修

医療安全セーフティマネージメント部会

平成29年9月27日にセーフティマネージメント部会主催による「KYT」研修を開催しました。KYTとは、危険予知トレーニングのことです。研修内容は、あらかじめ写真事例を6つ用意して、この場面がどういう風に危険が予知するといった研修です。どの事例も日常で普通に起こりえる写真であるだけに参加者はいろんな意見や対策などを話し合うことができました。

その中の1事例を紹介します。



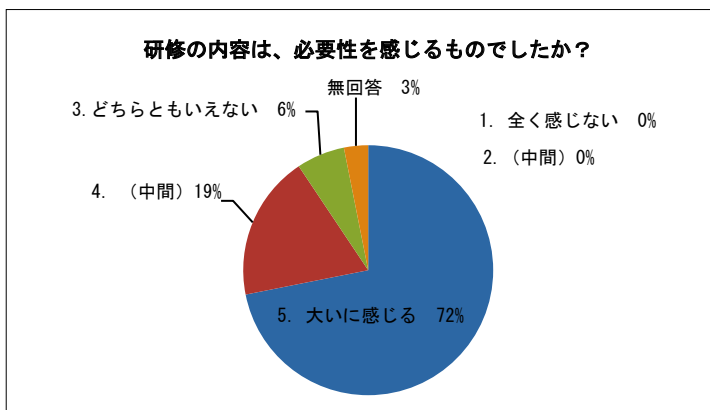
この写真はあるベッドサイドの風景です。この場面のどこに危険があるのかグループに分かれて検討をしました。

- ①床にコードが散乱しているので引っかかる
  - ②コードがまとまっていないので火災になりやすい
  - ③エアーマットのコードが引っ張られているので断線する
- など様々な意見がでました。こちらが用意していた解答よりの確な意見もあり、毎年研修を行っている成果が表れていると実感しました。

下記は研修後のアンケート内容ですが、KYT研修の必要性や今後役立つなどの意見がほとんどであり、危険に備えたトレーニングをすることで予知する力が向上したのではないのでしょうか。

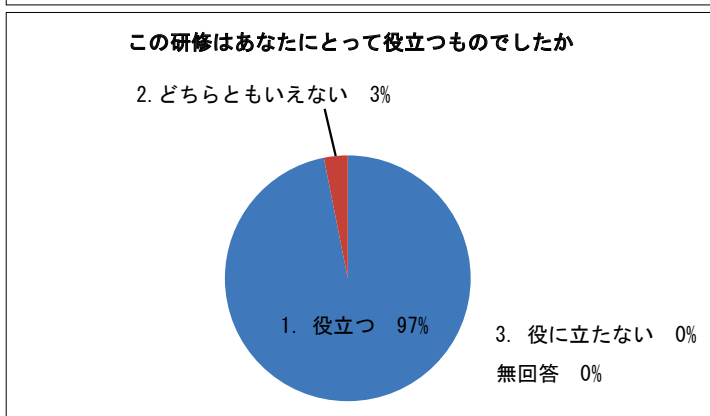
**(1)研修の内容は、必要性を感じるものでしたか？**

研修の必要性	
5. 大いに感じる	23
4. (中間)	6
3. どちらともいえない	2
2. (中間)	0
1. 全く感じない	0
無回答	1



**(2)この研修は、あなたにとって役立つものでしたか？**

研修の役立ち	
1. 役立つ	31
2. どちらともいえない	1
3. 役に立たない	0
無回答	0



医療安全グループとして、来年度も更に充実した研修を取り入れていきたいと思えます。



# 2017.10.22日 大竹ふれあい健康・福祉まつりに参加しました

10月22日(日)大竹ふれあい健康・福祉まつりが開催されました。

超大型で強い勢力の台風21号が、前日から日本の南を北上した影響により、当日も大荒れの天気でした。

予定どおりオープニングセレモニーが終わり、ぽつぽつと来場される皆さんは、服がびしょ濡れ、靴も靴下もびしょ濡れで来場されました。そんな悪天候ではありましたが「毎年来てるからね。」「『ここで測ってきたらいいよ。』って勧められたから来たよ。」と皆さん笑顔(☺)

毎年、看護師、理学療法士、栄養士、医師が参加し、身体測定や各種相談を行っています。今年度は新たに口腔ケア相談を新コーナーに設け歯科衛生士が初参加しました。

大竹市の少子・高齢化は県全体を上回るスピードで進んでいます。しかし来場される市民の方々は健康意識が高くパワーすら感じる事が出来ます。大竹市の健康寿命を高めていける一助となり、これからも大竹市民の方々と触れ合っていけるよう参加し続けていきたいと改めて感じた1日でした。

	内 容	担 当	参加者数			昨年度参加
			男性	女性	合計	
1	身長測定	看護師	41	77	118	185
2	体重・体組成		38	76	114	83
3	体組成・説明		38	72	110	166
4	血圧相談		37	76	113	168
5	運動相談	理学療法士	16	38	54	113
6	栄養相談	管理栄養士	12	43	55	123
7	禁煙相談	医師	17	41	58	26
8	口腔ケア相談	歯科衛生士	4	16	20	
延べ来場者数			203	439	642	964

## 測定コーナー



体組成測定を行いました。「身長が年々低くなる、体重は年々増えてくる」と呟く方が多いです。

## 体組成測定の結果説明



体組成測定結果は…と自分の体のことを気にされていました。

## 血圧測定



看護師による血圧測定「普段の血圧はどうですか?」

## 栄養相談



栄養管理士による栄養相談 食べることは基本!皆さん一生懸命相談していました。

## 運動相談



家でも出来る簡単エクササイズの方法…是非やってみてください。

## 健康相談



医師による健康相談 自分の健康を維持するためにいろいろと相談されていました。

## 口腔ケア相談



お口の健康大切です。歯科衛生士による口腔ケアの指導を行いました。



## 還暦を祝う会

児童指導員 寺田 恭子



平成29年9月20日(水)、療育訓練室にて「還暦を祝う会」を開催しました。毎年、若葉病棟、あゆみ病棟利用者で還暦を迎えられる方を対象に開催しており、今年度は2名の方のお祝い会となりました。開催にあたり、病院職員を代表して河原診療部長、湊崎小児科医長、川部1若葉病棟師長、明星3若葉病棟師長がお祝いの言葉を贈りました。また、あゆみ病棟自治会の和田浩二様、わかば保護者会会長代理の中本真喜様、各病棟利用者、職員らが大勢お祝いに駆けつけ賑やかな会となりました。

還暦を迎えられたお二人は、食べること、歌うことが大好きで、宴会をイメージした会を開催しました。また、会場飾りや会の進行は、縁起のよい紅白を基調としており華やかです。まずは乾杯でスタートし、和やかな雰囲気の中お祝い会が始まりました。続いて、みなさんからのプレゼントとして金色のボックスが登場！中からは紅白ゼリーが現れ、お二人とも美味しそうに食べておられました。その後は、還暦カラオケ大会です。お二人の青春の歌の中から、紅白にちなんだ歌を歌っていただきました。同じ病棟で過ごしてきた仲間による踊りや、参加された方々によるうちわでの盛り上げも加わり、楽しいひとときとなりました。最後には、お二人に向けた替え歌「明日があるさ～還暦ver.～」を全員で歌い、会場一体となってお二人の人生の節目をお祝いしました。

また、今年度もサプライズゲストとして、アンデルセンター長がケーキを持ってお祝いに駆けつけてくれました。嬉しそうにケーキを食べられるお二人の姿に、会場のみなさんにも笑顔が広がりました。みなさんでお祝いできた今回の会が、お二人の新たなスタートとして思い出に残る時間となれば幸いです。



紅白ゼリーをパクっとひとくち



メッセージボード前で記念撮影

また、今年度もサプライズゲストとして、アンデルセンター長がケーキを持ってお祝いに駆けつけてくれました。嬉しそうにケーキを食べられるお二人の姿に、会場のみなさんにも笑顔が広がりました。

みなさんでお祝いできた今回の会が、お二人の新たなスタートとして思い出に残る時間となれば幸いです。



アンデルセンター長登場



カラオケで大盛り上がり



楽しく歌っていただきました



還暦を祝う会集合写真



## 患者図書室から



### ～ 暖かい暖炉のある図書室へようこそ ～



11月も残りあとわずか。もうすぐ12月ですね。12月といえば、なんといっても**クリスマス!**街のイルミネーション、店頭ディスプレイに心がほっこりする季節です。近年はご家庭でもクリスマスイルミネーションを楽しむ方が増えましたね。私も、図書室で患者さんと一緒にクリスマス気分を味わいたいと毎年ささやかですが、飾りつけをしています。

写真はクリスマス飾りをした図書室の暖炉です。

外がどんなに寒くても、暖かい暖炉のある図書室で薪がパチパチ爆ぜる音やクリスマスソングを聴きながらゆったりと読書を楽しむ。—暖炉の炎のゆらめきを見ていると不思議と心が落ち着き、時間が経つのも忘れてしまいます。

図書室に来られる方も暖炉に気づくと、何とはなしに暖炉のそばへ。暖炉の火を囲むとなぜか知らない人どうしてもおしゃべりが弾みます。たき火を皆で囲んだ時のような独特の雰囲気そうさせるのかもしれない。暖炉がある風景はとても穏やかで、ちょっとした幸福感を私たちにもたらしてくれます。

ところで、写真の暖炉にかかっている靴下。クリスマスには欠かせない靴下ですが、そもそも靴下にプレゼントを入れるという習慣はどこからきたかご存知ですか。クリスマスの心温まる豆知識?をご紹介します。

### ～ クリスマスに靴下のワケ ～

サンタさんは実在の司教 聖ニコラウスがモデルと言われています。聖ニコラウスは恵まれない子どもたちや貧しい人々に施しをしていました。ある家族があまりの貧しさに娘を売りに出そうとします。これを知った聖ニコラウスはかわいそうに思い、その娘を助けようと夜中に煙突から金貨を投げ入れました。その時、金貨が偶然に暖炉の下で乾かしていた靴下の中に入り、この金貨のおかげで家族は娘を売りに出さずにすみました。娘は、その後、幸せな結婚をしました。クリスマスに靴下を用意するのは、この話が由来だとされています。





### \*サーモンピンクのヒ・ミ・ツ\*

お魚売り場に行くと「さけ」が多く見られますね。日本は世界で獲れる鮭の4割を消費しているほど、「さけ」が大好き！また、魚離れが進んでいる中で、「さけ」の購入量は増えているそうです。

「さけ」はサーモンピンクと言われるように、鮮やかな赤い色をしています。意外にも白身魚に分類されます。

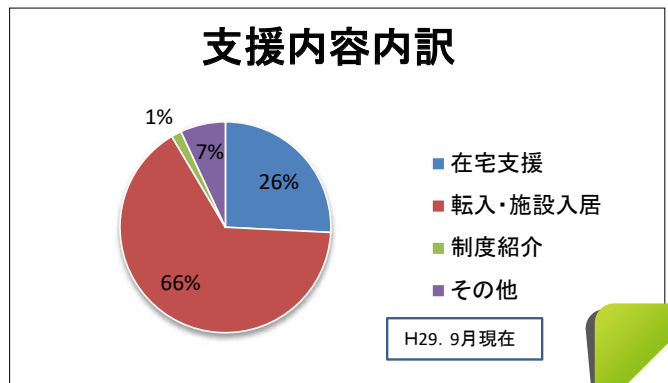
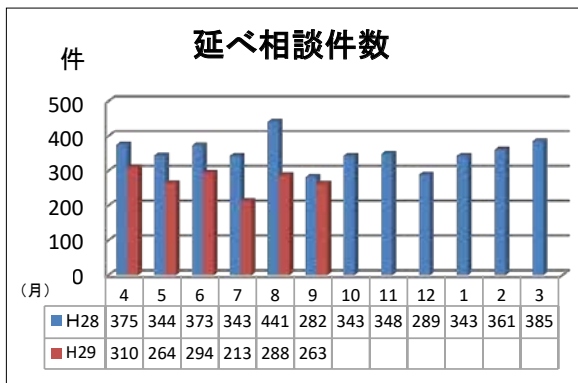
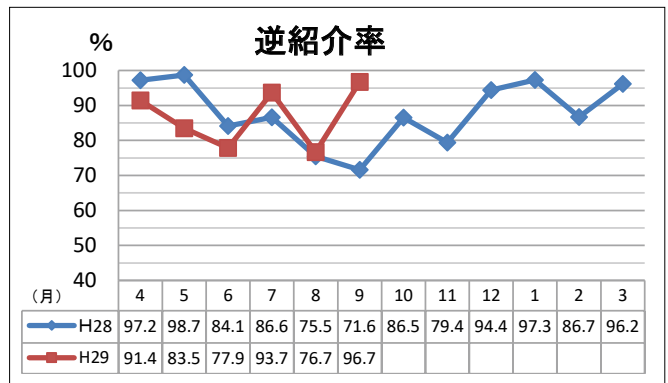
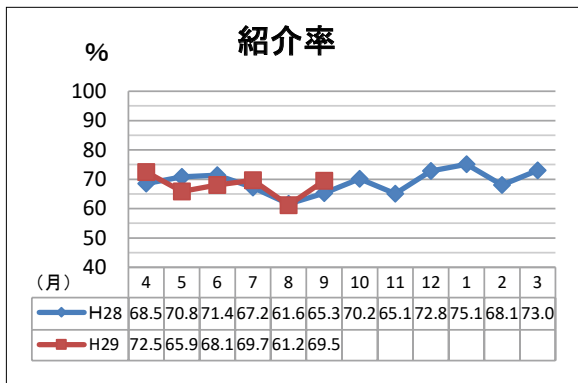
赤い色の正体は『アスタキサンチン』という成分で、抗酸化作用がとても強く、様々な効果があります。最近では、化粧品にも使われているようですね。

効果として…①疲労回復、②美白、③目の疲れの改善などがあります。

『アスタキサンチン』はエビやカニにも含まれています。ヒトはアスタキサンチンを自ら作り出すことができません。旬の時期に美味しく食べて、体に取り入れましょう。



## 地域医療連携室実績報告



### 編集後記

10月は10回目のセンター祭り、神経・筋疾患研修会、大竹ふれあい健康・福祉まつりなど、イベントが盛りだくさんの月でした。前日と当日午前中までの大雨のなか準備を行ったセンター祭りをはじめ、各イベント準備と開催にご尽力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

(事務部長 大谷 伸次)

# 外来診療担当医表

## 広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。  
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

…前号からの変更箇所

平成29年10月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	亀谷 貴浩	伊藤やよいこ	大谷裕一郎	生田 卓也	伊藤やよいこ	下記の専門領域以外の新患	
	再診	AM角野 萌(血液)	AM亀谷/PM生田	生田 卓也	AM伊藤/PM亀谷	/		
内科	専門領域新患(紹介患者)	藤堂祐子/山中秀彦	倉恒 正利	八尾 尚幸	広大	藤原 仁	月曜日 隔週 血液は下欄で毎日 新患可(①~③あり)	
		消化器	腎臓	血液	呼吸器	循環器		
	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)②	八尾尚幸(血液)①	広大(呼吸器)	八尾尚幸(血液)②	再診外来予約制
	2診	消化器/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	福原崇之(肝臓)	山中秀彦(消化管)	福原崇之(肝臓)	藤堂祐子(消化管)	
	3診	消化器/内分泌代謝/血液	鼻岡理恵(消化器)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	角野 萌(血液)	
	4診	循環器/血液	楠 正美(循環器)	角野 萌(血液)①	下村壮司(血液)②	下村壮司(血液)②	宗正昌三(血液)③	
	5診	循環器	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)	
6診	腎臓/循環器/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	楠 正美(循環器)	高蓋寿朗(血液)①	広大(血液)①		
神経内科	1診	村尾 智美	渡邊千種(物忘れ)(第2・4・5)	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2診	牧野恭子(パーキンソン病)	村尾智美(第1・3)	村尾 智美	檜垣雅裕(頭痛)	渡邊千種(筋疾患)	予約制 PM	
CAPD 外来		倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	PM2~4 予約制	
小児科	一般外来	1診	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	※は月曜日が休日の場合火曜日
		2診	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	
		予防接種※	慢性外来	乳児健診	慢性外来	/	/	PM
	専門外来	小児筋ジストロフィー	伊藤 明子	伊藤明子・福田清貴	伊藤 明子	伊藤 明子	伊藤明子・福田清貴	予約制
		重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	
発達外来		湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範			
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外科	初診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	嶋谷/今岡/石崎/齊藤	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	石崎 康代	今岡 泰博	/		
整形外科	初診	岩崎 洋一	藤原 祐輔	永田 義彦	/	糸谷 友志	木曜日手術日	
	再診	糸谷友志/(永田義彦)	永田 義彦	岩崎 洋一	/	永田 義彦		
	再診	藤原 祐輔	糸谷友志(岩崎洋一)	糸谷友志/(藤原祐輔)	/	藤原祐輔/(岩崎洋一)		
泌尿器科	1診	浅野耕助/福島貴郁	浅野 耕助	浅野 耕助	藤井 慎介	浅野 耕助		
	2診	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司		
産婦人科		新甲 靖	新甲 靖	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		稲束有希子	稲束有希子	/	稲束有希子	稲束有希子	水曜日手術日	
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

### ●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約(CT・MRI含む)は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

### 糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします(当日予約可能です)。

問い合わせ先: 栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151

■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室

ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140)

FAX (0827)57-7701